

2025 第 1, 2, 3 RUTC 永遠の答えの始まり (28) (社)世界福音化伝道協会 www. weea. kr		
2025 年 7 月 12 日 週間祈りカード		
△産業宣教/金土日時代のやぐら 24 237-5000 レムナント家族縁組 (出 2:1-10)	△RT と TCK 伝道学/三つの庭のモデル 24 レムナントの未来 (使 19:8)	△核心 三時代の三つの準備 (ヨハ 21:15-18)
「237-5000 レムナント家族縁組」 韓国がとても難しかったとき、スウェーデンで人材を家族縁組して助けてくれた。私たちもあの 5 千種族にすべきだ。 □序論_家族 (出 2:1-10) モーセにこの契約が伝えられた 1. 3 人の家族が重要な役割をした 1) ヨケベドという母親がモーセに家族戦略を使った 2) エジプトの王女はモーセを息子とした。 3) イテロ長老は婿とした。 2. 絶対やぐらを見て決断を下した 3. 歴史的 このために神様は歴史に最高に残る答えを与えられた。 1) 血のいけにえと 10 奇跡。出エジプトはものすごい働きだ。 2) 出てきた彼らに三つの祭りを分かせたということは、すべてを分かせたこと。 3) 契約の箱でなく契約。神様は干からびた杖より劣る私たちを通していのち (みことば) を与えられる 4) 幕屋中心すべての民が門を幕屋に向けて。 □本論 1. 出 2:1-10 三つ ファラオが子どもたちを殺せと言った。絶対不可能だ。そこで、ヨケベドが絶対やぐらを見たのだ。そこで絶対的な準備が起きたがこれが絶対可能だ。神様の計画は死ぬことではない。 2. 出 3:1-20 80 歳で神様の召しを受ける。みことばは必ず成就する。奴隷であるのは絶対不可能だ。ところで絶対旅程と道しるべを見たのだ。それが神様の絶対旅程だ。そのとき、絶対可能が見える。 3. 出 5:1-12:46 確実な証明 出エジプトした。ファラオは絶対不可能だ。しかし、神様がモーセに約束された通り 10 の奇跡が起こったがファラオは最後まで悟ることはできなかった。血のいけにえをささげる日、終わったのだ。 □結論_一番重要なのはみことば 1. 私たちの問題と答えはどこにあるのか (創世記) 2. まことの解放は出暗闇だ。(出エジプト記) 3. 荒野に行く力が三つの祭りと礼拝だ。礼拝に力がなければならぬ。(レビ記) 4. 時刻表 (地域-民数記) カナンに入る時刻表、答えの時刻表が何か。いつ入って行くのか。12 地域把握、確立、準備されたとき、神様は門を開けられる。皆さんの教会、地域、国が確定したとき、本当の人生が始まる。 5. 以前 (申命記) その以前ことが重要だ。今まであった神様のは働きを刻印させなさい。すると根をおろして、体質になって世界福音化するのだ。	□序論_レムナント基準 1. 成功 X、その後のこと、現場癒やしだ。 2. 出世 X、王の指導者、慰める者になること 3. 名譽 X、世界福音化だ。 □本論_ 237-5000 1. 申 6:4-9 荒野で最後の集いで三つの祭り、契約の箱、幕屋中心を完全に刻印させて連れて出て行った。 2. I サム 7:1-15 ミツパ運動だ。私たちがこのようになったのは、ペリシテが間違っていると悟っているなら、一生ペリシテの奴隷になる。すべての民が集まって血のいけにえをささげたが、そのとき出て来て、ペリシテが打たれた。そして、戦争がなかった。 3. II 列 6:8-24 ドタンの町運動だ。ここに 24、25、永遠をしている伝道弟子が集まったが、神様が天の軍隊を送られたのだ。戦わずに勝つ。 4. イザ 62:6-12 全部レムナントに与えたのだ。あなたを見張り人として呼んだ。大路を造りなさい。もろもろの民に向かって旗を揚げなさい。 5. 使 17:1、18:4、19:8 パウロが会堂に入って、永遠前、受肉、復活、再臨主、さばき主として立たれるキリストを伝えた。また、神様が与えられる力を受けることが安息日、礼拝、主日、金土日時代だ。そして、本当の答えは御座、神の国、神の国のことだ。 □結論 <u>毎日祈り</u>-安らかに毎日祈りの絵を描きなさい。3 集中、3 セッティング、あらかじめ 3 答えを持って行く。 <u>毎時間祈り</u>-少なくとも 1、2 時間の中で、からだと脳を回復させる呼吸、祈り、運動をする。 <u>毎事件祈り</u>-毎事件に答えの祈りだ。すべての問題は 5 分内に答え出て来なければならない。	金土日時代、三つの庭、黙想時代がメッセージとして刺さらなければならない。なぜ聖書では集中して集まったのか。なぜイエス様が三つの庭がないことを見て怒られたのか。なぜ私たちは 3 団体に負けているのか。みことばが刺さらなければならない。これを準備するのが WRC 大会の準備だ。 □序論_心の病氣 不治の病 (がん) 時代- 50% 1. 自ら握っているから止めることができない。 1) サタン 12 の戦略 2) 5 つのやぐら 3) さらに中に入るようにする環境 4) 霊的問題が来ると抜け出せない。 2. 癒やし 1) サタンのやぐら癒やし (キリスト) -強い者が家を作っている。信仰生活を良くしようとすれば、悪霊をさらに連れてくる。要塞を作っておいた。世の神にさらに仕えている。世の支配者に仕えている。福音より律法を強調する。ただキリストでなければならない。 2) 根源癒やし (やぐら) -医師が与えることができない根源的なことは、私が神様から受けることだ。それゆえ、40 日集中してやぐらを変えるのだ。 3) 刻印癒やし (旅程) -五旬節の日になって。旅程を変えたのだ。天の御座の力によって、祈りで味わいながら行くのだ。 4) 再創造癒やし (II コリ 5:17、II コリ 12:1-10、ロマ 16:25-27) -新しい霊的 DNA が入って行くべきだ。深い段階に入って刻印されたことを癒やして、根源的なことを変えなければならない。永遠の前からとこしえにある世界を味わわなければならない。 5) 未来癒やし 3. うつ病-パニック障害-慰め 癒やしは上から与えられる神様の慰めでこそできる。霊的な病氣になっているので、霊的世界で治さなければならない。 □本論 1. 3 時代の主役 1) 3 つの庭時代ができなければ教会が門を閉める。 2) 金土日時代-集中してこそ癒やされる。真剣にフォーラムとみことばを見つければならない。 3) 黙想時代-神様がくださった私を生かして人を生かす世界が別にある。それを味わうべきだ。それによって、<u>私のやぐら</u>を作りなさい。すると <u>ブラッド</u> <u>フォーム</u>、<u>見張り台</u>、<u>アンテナ</u>ができる。 2. 3 つの準備 1) 一つの国 2) 一つの地域を生かす祈り 3) 家族縁組運動-弟子が出てくるようになる。 □結論_毎日 <u>3 集中</u>-目を覚ましたら祈りなさい。すべて祝福を確認するのだ。問題が来れば、答えが出てくる。 <u>毎時間</u>-集中する呼吸、祈り、5 分以上運動。からだと霊と脳が生かされ。 <u>毎事件</u>-受容、超越、うれしくなるほど答えを出す。

2025 第 1, 2, 3 RUTC 永遠の答えの始まり (28) (社)世界福音化伝道協会 www. weea. kr		
2025 年 7 月 13 日 週間祈りカード		
△区域メッセージ第 28 週/3 部わざわいを止める神様のやぐらを建てなさい 初代教会のわざわいと世界福音化(使 11:1-8、ガラ 2:20、Ⅱコリ 10:4-5)	△聖日 1 部 ダビデはゴリヤテに楽勝しました(Ⅰサム 17:31-37)	△聖日 2 部/237 宣教会献身礼拝 宣教 24, 25, 永遠(ロマ 16:25-27)
何も持っていないなくても勝利できる道がある。初代教会がそうした。もし私たちが失敗したとしても勝利できる道がある。その証拠が教会史にたくさんある。300%準備すれば必ず勝利する。そして「わざわい」が度々臨むのに、先に知っておくべきことがある。もし宗教がないならば、世の中に混乱がくる。それゆえ、王が立つごとに宗教と思想を利用した。教会に福音がなければ、わざわいが臨む。この福音をそのまま与えたので、価値がないと考えることがある。 □序論_初代教会 1. 使 11:1-18 コルネリウスの家で食事したことで初代教会は問題になった。この話はいまだに昔のことで、そのままざっしり埋まっているということだ。そのために、事実は燭台をアンティオキアに移されまし、ペテロはそれ以上、用いられなかった。 2. 割礼-さらにパウロがする伝道現場に行つて異邦人に、救われても割礼は受けなければならないと言ったのだ。 3. ガラ 2:10-20 パウロが行く伝道現場ごとにユダヤ人がユダヤ人の法を守るべきだと出てきた。ユダヤ人もユダヤ人の法をみな知らず、守れないことを異邦人にしなさいと言うので話にならない。 □本論_完全な御座運動 1. 100%聖霊の導き 1) 使 13:1-4 完全に聖霊に導かれる時まで祈った。 2) 使 16:6-10 徹夜して祈ったが、夜に幻を見た。 3) 使 19:1-8 マルコの屋上の部屋から神の国のことまで 100%導かれる。 2. 100%現場聖霊の働きで癒やし 1) 使 13:5-12 暗闇が打ち倒された。 2) 使 16:16-18 悪霊につかれた者が癒やされた。 3) 使 19:8-20 各種の不治の病が癒やされた。現場 100%だ。 3. 100%聖霊実(未来) 1) 使 13:12 総督が恵みを受けた。 2) 使 16:15 リディアが弟子として残った。 3) 使 17:6 ヤソングが弟子として残った。 4) 使 19:21、23:11、27:24 ローマも見なければならぬ。ローマでも証ししなければならぬ。カエサルの前に立ちます。これが未来だ。未来を置いて 100%神様が準備された。 □結論 1. 受容-私たちの行く道ですべてを受容しなさい。すべてに神様の計画がある。間違つた話をしている人でさえ、事情がある。 2. 超越-ヨセフが奴隷に行ったが奴隷ではない。超越した。監獄に行ったが囚人ではない。総理になったが、総理ではない。世界福音化した。 3. 答え-答えを与えてまた、私たちが答えを見つけるのだ。私たちが問題が来たとき、神様が与えてくださる祝福の答えが出てくる時まで祈ってみなさい。ものすごい喜びが生まれる。	□序論_レムナント大会をする理由-300%力準備 △信徒が神様の力を味わうことができなくて、伝えることができないならば、最も大きな犯罪となる。 1. 契約を握つた後、300%の力準備-「主の霊が激しく臨んだ」 2. 300%準備したレムナント 1) ヨセフ-自分がある所で 300% 2) モーセ-契約 100%、現場 100%、メディアンで祈りで 100%準備 3) サムエル-言も地に落とされぬ 100%、戦争が止まり 100%、サムエルを見た者は主に仕える 100% 3. 時刻表-味わう、待つ、挑戦 □本論_どのようにこの力を持って行くのか 1. 世の中に出て行く前-個人の絶対やぐらを建てなさい。 1) みことばに深く入って詩を作った。メッセージを逃してはならない(詩 78:70-72) 2) 賛美の人(Ⅰサム 16:23) 3) 羊一匹もなくさない技能(Ⅰサム 17:34-35) 4) サムエルを通じて未来と確実な契約を伝達されたダビデ(Ⅰサム 16:13) -力のやぐらができた。 2. その日-現場を生かすやぐら(暗闇に勝つ力)を持って行きなさい。 1) 神様を侮辱するゴリヤテ(Ⅰ-16 節) 2) エッサイのお使い教育-レムナントが神様の力を見ることができるようになさなければならぬ(17-22 節) 3) ゴリヤテと戦わなければならない理由を知ったダビデ(23-29 節) 4) 主をなぶる者の手から私を救い出されるだろう(31-37 節) 5) ゴリヤテに勝つには軍服が不要だ(38-40 節) 6) 主の御名で立ち向かったダビデ(41-47 節) 7) ゴリヤテに勝ったダビデ(48-58 節)-レムナントが暗闇に勝つ力を育てなければならぬ。 3. 神様が準備しておかれた未来のやぐらを持ちなさい。 1) 苦難に勝ったダビデ(詩 23:1-6) 2) 1 千やぐら 3) 契約の箱を置く神殿準備 □結論 1. 常に全く同じだったダビデの信仰-幼い時期、青少年時期、青年時期、王時期、老年時期 2. 決断-御座の時刻表を味わつて、そのやぐらを建てなければならない。 1) 祭壇を築き始めたアブラハム 2) モリヤ山の事件の後のイサク-100 倍祝福、泉の根源、レホボテの祝福 3) エゼキエル-主がなさることができます。みことばを預言しなさい。いのちの息を預言しなさい。 4) エレミヤ(エレ 33:1-3)-わたしを呼べ。そうすれば、あなたの知らない理解を超えた大いなることをあなたに告げよう。 5) 伝道者の決断-私は能力がないので 24、25、永遠という契約で祈らなければならない。	イエス様が宣教を約束しながら「ただ」を語られた。心配してはならない。ほかのことをしようとしてはならない。はやく答えが来なくても落胆せずに待ちなさい。聖霊を受ければ力を受ける。地の果てまで証人になる(使 1:8)。 □序論_24、25、永遠を知っている人に隠されたことを与えられた。 1. 理由を知っている人に 1) 17 のわざわい-サタンがこの方法を使った。 2) 状況-これを分らないと、自らその中に陥つて握っている。 3) 霊的問題-とうてい手放すことができない霊的問題の中にいるようになる。 2. やぐらを変えること-これが宣教(金土日時代の理由) 3. 刻印を変えること 4. 再創造を見つけること-世界福音化できる DNA に変わらなければならない(Ⅱコリ 5:17) 5. 未来を変えること △何も心配してはならない。この契約を持っていれば、レムナントがどこにいるかによって、神様がすべてを持って訪ねて来られる。 □本論_根源的な力、刻印を変える力、再創造の力を受けて養わなければならない。 1. 宣教 24 -神様が与えられる力の回復 1) 毎日-3 集中(目を覚ませばすべてを回復、屋に確認、夜に答え)、3 セッティング(プラットフォーム、見張り台、アンテナ)、3 答え(問題が来れば答え、更新、機会が見えるので喜び) 2) 毎時間-5 分集中(運動、呼吸、解答を見つける) 3) 毎事件-答えを受ける。 2. 宣教 25 -御座の回復 1) 御座-みことばで天地を創造された、その力(創 1:1-13)、御座に着かれた主が働かれる(イザ 6:1-13)、復活されたキリストのみことば(マタ 28:20、マコ 16:20) 2) 神の国(マタ 6:10、33) 3) 神の国のこと(使 1:3)-レムナント 7 人、ヘブ 11 章の人物が受けた答え。 3. 宣教永遠-神様が備えられた永遠のことを回復 1) 300% -神様は皆さんを 100%導かれるようになっている。行く所に 100%準備して置かれた。皆さんの未来を 100%準備された。 2) 作品を作ること- 7 やぐら、7 旅程、7 道しるべが作品 3) 記念碑-これを次世代に残せば記念碑となる。 △神様のみことばを確認して平安が来て、力が生まれなければならない。これが真の癒やしの働きでサミット運動だ。 □結論_この宣教をする 1. 一人ならば良い。どこにいなければならないのか。この契約の中にいなければならない。 2. 一つのチームならば良い。だれと会っているのか。伝道する人との出会いがあるならば、すべてのことを回復することができる。 3. 一つの教会ならば良い。ただを味わう教会-ただ福音、祈り、伝道、証人 △無能、貧困、霊的な病気を縛るように祈りなさい